福良ヶ丘小だより

第２４号
臼杵市立福良ヶ丘小学校
令和8年10月20日

丘っ子スローガン「つくりあい」（創りあい）

発行者　　木下　裕章

「ふくラボ」を開催しました









10月17日（土）防災学習の成果を発表・体験する「ふくラボ」を開催しました。はじめの会では、6年生が「ふくラボ」の概要プレゼンテーションにより、全校児童のワクワク感が高まり、行事がスタートしました。

○「子どものブースタイム」（8:50～9:50）

今年度は混雑を避け、確実に準備や休憩時間を確保できるよう、活動時間を「2・4・6年生」と「1・3・5年生」の2グループに分けて交互に実施（活動15分、準備・休憩15分）しました。この見直しにより、子どもたちはゆとりをもって行動でき、保護者や地域の方も、各学年のブースをゆっくりとご覧いただくことができました。各学年のブースタイトルは次のとおりです。

・1年生「がっこうあんぜんけんきゅうじょ」
・2年生「さいがいすごろく」
・3年生「火事の発表」
・4年生「臼杵ぜったい守り隊」～風水害博物館～
・5年生「FBL（福良・防災・リーダーズ）～2500人の命を守るひなん所へ～
・6年生「DIG体験」

どの学年もこれまで学習し考えたことを、体験を通して伝える工夫が光っていました。映像の活用、模造紙でのまとめ、手作りの工作物など、創意工夫にあふれたわかりやすい発表ばかりでした。

○「外部のブースタイム」（10:00～11:00）

後半は、ふれあい班ごとに専門機関による3つのブースを見学・体験しました。

・臼杵市消防署「水消火器体験」「煙ハウス」「救急車・消防車の乗車体験」
・大分トヨタ自動車「災害時の電気自動車の活用方法」
・南部地区防災士連絡協議会「災害時のトイレの使い方～簡易トイレ・マンホールトイレの使い方」

どのブースも子どもたちの興味関心をそそるものばかりで、いざという時の行動のヒントやすぐに役立つ知識を学ぶ貴重な機会となりました。

最後のおわりの会では、子どもたちから感想が発表されました。「とても緊張したけど楽しかった」「煙ハウスでは全然前が見えなくて、避難の大変さがわかった」「6年生のDIG体験は、『すごいね』とほめられやったかいがあった」「たくさんの人に来てもらい、たくさんほめてもらえてうれしかった」

子どもたちの学習の成果を存分に味わい、みんなが楽しむことができた充実の「ふくラボ」でした。保護者や地域の方には、早朝よりご来校いただき、また温かいお声をいただき、誠にありがとうございました。









福良ヶ丘小学校のHPにクリック